

# 高校会議所が新体制

## 第10回 総会 富士宮を元気に

富士宮高校会議所はこのほど、第10回定期総会を西町レトロ館で開催した。須藤秀忠市長による会員認証で、令和7年度の新体制をスタートさせた。第10代会頭に渡井美結さん(富士宮北高2年)と清彩華さん(富岳館高2年)の2人が就き、高校生の視点で地域活性化を図るための事業計画などを決めた。新会頭の渡井さんは「普通の高校生ができ

ないような体験や経験、多くの出会いがあり、高校生活がとても充実している。一番力を入れているのは『マスマス元肥(げんぴ)』(オリジナル堆肥)を使った新たな特産品の開発と情報発信。メンバーと共に活動を盛り上げた」と抱負を語った。清さんは「音楽で富士宮を元気にする活動に力を入れ、多くの皆さんに喜んでもらえた。今後も音楽、絵画、笑

いを通して、さらに富士宮を元気にさせたい。第9代の杉山葉奈会頭のような会頭になれるよう尽力する」と意欲を膨らませた。



来賓では、須藤市長と地元支援団体の松山区健康会の中村伸介会長があいさつした。10年の節目に祝福の言葉を寄せるとともに、高校生の意見やアイデアを生かした活動の1層の進展に期待した。事業計画では、SDGs実践の「マスマス元肥を使って富士宮をマスマス元気に!」「ベビーカー・チャイルドシートの2R、持続可能な社会づくりを!」アート(絵画・音楽・

大喜利、川柳など)や音楽・絵画・笑いを各地に届ける活動を継続。これまでの地道な活動に加え、新たな取り組みを積極的に進め、持続可能な社会づくりを目指す」としている。

笑いで地域を元気に!」の三つのプロジェクトを柱に、各種事業の定着を目指す。地域の魅力を発信する各種コンテスト(SDGs活動、写真・動画、絵画、駄じゃれ

絵会出席者がより良い地域づくりへの意気込みを示す(提供写真)